

米販売動向調査について（全米販）（令和6年6月分）

1. 回答数 57会員

2. 調査結果概要

Q1：昨年6月と比べた令和6年6月（1か月）の米販売量

「やや増えた」が最も多く、次いで「増えた」と「減った」が同数。「やや増えた」、「増えた」を合わせると5割になる。

Q3：3か月前（令和6年3月）と比べた販売動向

「やや良くなっている」と「悪くなっている」が最も多く、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答数が、「やや良くなっている」、「良くなっている」の回答数を上回り、DI値は「47.8」。

Q5：3か月先（令和6年9月頃）の見通し

「変わらない」のが約3割と最も多く、「やや良くなる」が「やや悪くなる」をわずかに上回っており、DI値は「52.2」。

3. 集計結果

Q1：昨年6月と比べた令和6年6月（1か月）の米販売量

回答者数（会員）					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
57	12	17	6	10	12
100.0%	21.1%	29.8%	10.5%	17.5%	21.1%

Q3：3か月前（6年3月）と比べた販売動向

回答者数（会員）					
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
57	9	13	12	10	13
100.0%	15.8%	22.8%	21.1%	17.5%	22.8%

DI値
47.8

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
37.5	54.8	45.5

Q5：3か月先（6年9月頃）の見通し

回答者数（会員）					
合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
57	5	17	18	12	5
100.0%	8.8%	29.8%	31.6%	21.1%	8.8%

DI値
52.2

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
53.1	46.4	56.3

※企業規模について

規模A：米穀の売上高が年間100億円以上、規模B：米穀の売上高が年間25億円以上～100億円未満

規模C：米穀の売上高が年間25億円未満

～主な回答理由～

Q1：現在（6年6月）の米販売量（前年同月との比較）

- 量販店用、業務用ともに増加しており、原料玄米の調達に苦労している。
- 精米販売分だけで余裕がなく、卸間売買の数量がかなり減少した。
- マスコミ等メディアで米不足の報道が出てから、量販店、DSの販売が急増した。
- 特に6月に入ってから大手スーパー、中小スーパーともに発注数が増えている。

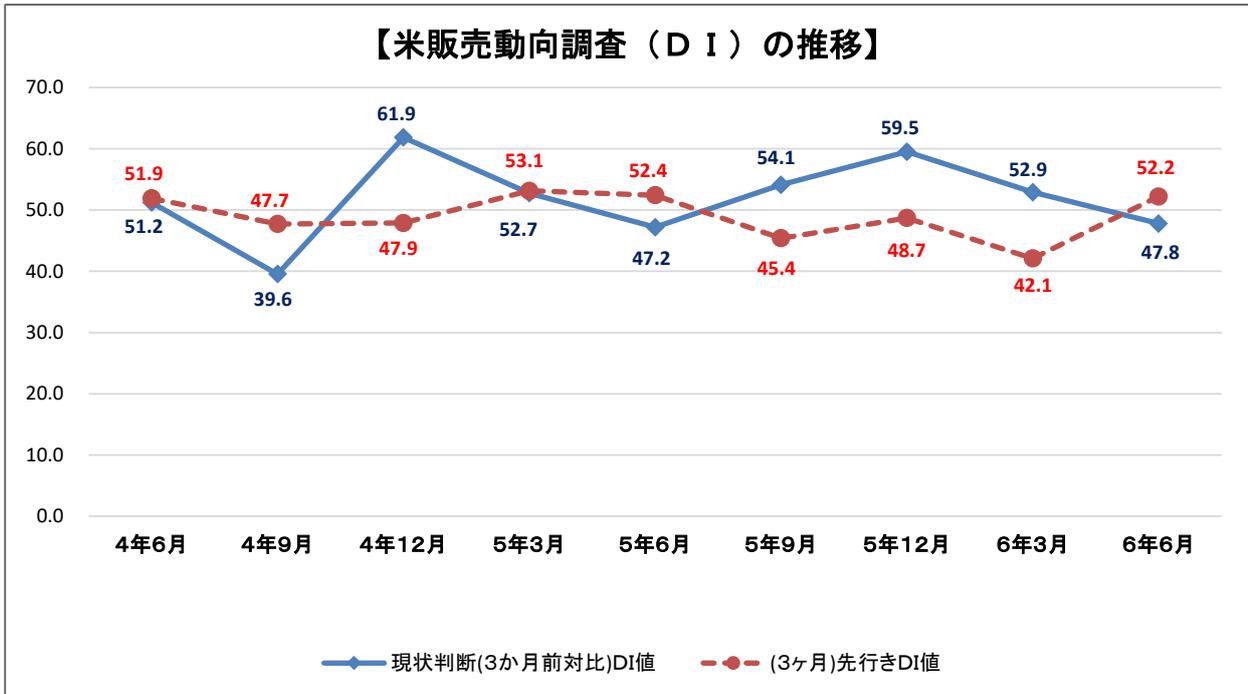
Q3：過去（3か月前）と現在の動き

- 原料玄米の不足高騰により量販店の特売が減少。業務用も条件が合わない先は停止している。
- 量販店では納入価格とともに販売価格の値上げをしてもらっているが、売行きは落ちていない。
- 5年産米の残数が見えてきており、利益を伴わない販売は行わない。販売数量は減少した。

Q5：将来（3か月後）の動き

- 6年産米は豊作であるとの期待を込めて「良くなる」と回答。
- 6年産の高騰により消費量の減少が心配。
- 新米が出回り、玄米販売は回復するが、精米販売は今まで供給がストップしていた納入業者が新米を調達すれば、販売が落ち込むことが予想される。トータルでは6月より上向くことが想定される。

【米販売動向調査（DI）の推移】



Q2：昨年6月と比べた令和6年6月（1か月）の米販売量

<仕向先別>	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
(小売店向け)		%	%	%	%	%
大手スーパー	100%	41.7	22.2	25.0	2.8	8.3
中小スーパー	100%	27.8	27.8	18.5	9.3	16.7
米穀専門店	100%	10.0	22.0	34.0	14.0	20.0
その他	100%	11.9	14.3	33.3	7.1	33.3
(外食産業向け)						
外食向け	100%	9.8	37.3	43.1	7.8	2.0
中食向け	100%	11.3	22.6	52.8	7.5	5.7
給食向け	100%	0.0	9.1	81.8	7.3	1.8

Q4：3か月前（令和6年3月）と比べた販売動向

<仕向先別>	合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	30.6	33.3	19.4	8.3	8.3	67.4
中小スーパー	100%	18.5	37.0	18.5	5.6	20.4	56.9
米穀専門店	100%	3.9	19.6	41.2	17.6	17.6	43.6
その他	100%	4.7	4.7	39.5	18.6	32.6	32.6
(外食産業向け)							
外食向け	100%	2.0	33.3	58.8	3.9	2.0	57.4
中食向け	100%	1.9	24.5	62.3	7.5	3.8	53.3
給食向け	100%	5.4	5.4	80.4	5.4	3.6	50.9

Q6：3か月前（令和6年9月頃）の見通し

<仕向先別>	合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	8.3	27.8	27.8	33.3	2.8	51.4
中小スーパー	100%	5.6	37.0	25.9	22.2	9.3	51.9
米穀専門店	100%	2.0	23.5	49.0	19.6	5.9	49.0
その他	100%	8.9	20.0	48.9	8.9	13.3	50.6
(外食産業向け)							
外食向け	100%	0.0	25.5	60.8	13.7	0.0	52.9
中食向け	100%	0.0	26.9	59.6	13.5	0.0	53.4
給食向け	100%	0.0	3.6	89.1	7.3	0.0	49.1

*DI（diffusion index）の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				